

第26回日本高齢者大会 ～日本で最大規模の高齢者の学習・交流の場～

「まち・村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」「平和でいのち輝く、生きがいのある高齢社会をめざそう」と、日本各地で高齢者大会を開催しています。四国では愛媛大会以来18年ぶりの開催となります。

日時
10月10日(水)
午後1時～4時30分
高齢者の生活・健康等に
関わる学習講座・シンポジウム
など
午後5時～7時
シニア劇団公演・うたごえ広場
など

10月11日(木)
午前9時～正午
講演「ふまじめ介護 かく語りき」
講師 田辺 鶴瑛 氏

場所

アルファあなぶきホール
サンポートホール高松 他

参加対象
年齢制限なし



参加料
1日1,000円 2日2,000円
(割引券が必要です。お問い合わせください)
申し込み・問い合わせ
日本高齢者大会香川県実行委員会
☎087・862・5762

高齢者インフルエンザ予防接種が はじまります

対象者には、水色の予診票を送付しています。予防接種を希望する人は、医療機関へ予約をして接種してください。

対象
① 65歳以上の人(昭和23年3月31日以前に生まれた人で65歳以上の人)
② 60～64歳の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障がいのある人(身体障害者手帳1級に該当する人)、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある人(身体障害者手帳1級に該当する人)

実施期限
平成25年3月31日まで

接種料金
1,000円

※被保護世帯または非課税世帯の人は接種料が無料となります。事前に健康課または各支所で手続きをしてください。



手続きに必要なもの

- 被保護世帯・・・身分の証明できるもの(運転免許証など)、印鑑、生活保護受給証明書
- 非課税世帯・・・身分の証明できるもの(運転免許証など)、印鑑

▼問い合わせ 健康課 ☎73・3014

第3子以降 3歳未満児の 病児・病後児保育施設の利用料 無料

10月1日から、3人以上の児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある人)を扶養している多子世帯に対して、第3子以降3歳未満児の県内(高松市を除く)の病児・病後児保育施設の利用料(飲食物費・延長料金等を除く)が無料になります。

施設を無料で利用するには、事前に子育て支援課に申請し、受給資格証明書の発行を受ける必要があります。利用する施設で証明書を提示すれば、利用料が免除されます。

■申請先・問い合わせ
子育て支援課 ☎73・3016

発達障がい等の相談窓口のご案内

わたしもそうかも・・・
いろいろな”苦手”や”困り感”
を相談できます!

片付けが苦手
忘れ物が多い・物をなくしやすい
仕事の優先順位が分からない
集中が続かない・気がそれやすい
同じミス、失敗を繰り返す
場の雰囲気や状況、人の気持ちを察しにくい

これらは、本人の努力が足りないわけでも、親のしつづけができていないわけでもありません。もともと生まれもった性質なので、周囲の気づきと正しい理解、専門知識に基づいたサポートが必要です。何が苦手、どこをどう工夫してサポートすればいいのか・・・一人ひとりに合ったサポートと一緒に考えていきましょう。気になることがある人や、家族のことで困っている人は、気軽にご相談ください。

●相談先 ● 福祉課 ☎73-3015
子育て支援課 ☎73-3016
学校教育課 ☎62-1139

おねがいします。

高齢者肺炎球菌予防接種のお知らせ

対象者で希望する人は、健康課へお問い合わせください。

対象
① 75歳以上の市民で過去5年以内に肺炎球菌ワクチンを接種していない人
② 前回の接種から5年以上経過し、医師が再接種を認めた人
助成回数 生涯2回まで
接種料金 1回3,800円

接種方法
1. 希望者からの申し出(電話でも可)により予診票を発行します。(②の対象者は、委託医療機関で書いてもらった指定の同意書が必要)

2. 指定医療機関にて接種します。
▼問い合わせ 健康課 ☎73・3014

健康知っ得情報 みんな元気に

「肺炎の予防」

肺炎の主な要因は細菌やウイルス、真菌(カビなど)が肺に感染することで発症します。肺炎が重症化すると死に至る危険性があり、市でも死因の第3位を占めています。その多くは65歳以上の人です。

予防方法は風邪をこじらせない、規則正しい生活を送り免疫力の低下を避ける、口の中を清潔にするなどです。治療が早ければ早いほど回復も早いです。熱が出たり咳や痰が続く場合は必ず受診しましょう。また、高齢者の場合、肺炎球菌ワクチンを接種することもお勧めします。

▼問い合わせ 健康課 ☎73・3014

みとよHOT NEWS



8/9 韓国陝川郡中学生が表敬訪問
韓国陝川郡の中学生訪問団が、表敬訪問をしました。初めて来日する人も多く、栗島を訪問したり、「張子の虎」作りを体験したりと、三豊の文化や自然を楽しみました。

8/7 日本赤十字社から寄付のお礼

赤十字社員増強運動における多額の寄付に対し、豊中町の今川内科医院が金色有功賞を、そがわ医院と石田工務店(株)が銀色有功賞を受賞しました。これらの寄付金は日本赤十字社で災害救護などの人道的支援を目的に利用されます。



8/23 自尊心を満たすことばを

2012年度三豊市人権・同和問題講演会がマリンウェーブで行われました。メディアジャーナリストの渡辺真由子先生はインターネットによる人権侵害について講演。「家庭では自尊心を満たすことばをかけてあげてください」と参加者に呼びかけました。



みとよHOT NEWS



8/26 やったよ! 全国大会出場! (全国少年少女空手道大会)
全国少年少女空手道大会が東京武道館で行われ、香川県代表として、市から5人の小学生が出場しました。3年連続の出場となり、個人型競技を競い合いました。左から、石川千晴、川口真宙、川口友唯、三井唱生、田中ひびき(敬称略)